

国東市では、平成18年度に都市計画用途区域（旧国東町の一部・下図参照）のケーブルテレビ施設を整備、平成19年度に旧国見町・旧国東町（都市計画用途区域を除く）・旧武蔵町のケーブルテレビ施設を整備する予定です。将来的には、現在開局している旧安岐町のケーブルテレビ局と統合して、サービスを提供することになります。

ケーブルテレビ事業の実施にあたっては、テレビ放送のデジタル化への対応という目的もあります。

## ケーブルテレビってなに？

ケーブルテレビとは、ケーブルテレビセンターと各家庭を有線（光ケーブル）で直接つなぐ有線放送サービスです。現在私たちは、テレビ電波基地局または人工衛星から発信される「無線電波」を受けて、テレビを視聴しています。国東市ケーブルテレビでは、市中心部にセンター施設及び受信施設を置き、そこから国見総合支所、来浦地区、武蔵総合支所にあるサブセンターを経由して、各家庭に光ケーブルをつなぎこむことで、有線によりテレビ電波を送信します。通常、地上テレビ放送（無線）の電波が届きにくい地域でもケーブルテレビの場合、物理的に有線でつながっていますので、居住地域の地形や中継局の有無に左右されず、鮮明なテレビの視聴ができます。

以前は、情報通信手段といえば、ラジオ、テレビ、電話でした。近年、携帯電話とインター

ネットの急速な普及により、日常生活の中での情報通信手段は変化してきています。

インターネットを利用する環境は日々拡大しており、都市部では、民間の企業が整備しています。農村部では収益性が低いため整備が進まないのが現状です。こ

の点では都市部と農村部での格差は広がってきています。ケーブルテレビ施設を整備することにより、高速インターネットの環境も都市部と同じようになります。自宅に居ながら各種の情報を得ることができ、買い物や銀行への振込み、ホテル・航空券の予約もでき

平成18年度  
ケーブルテレビ施設  
整備区域

